

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-340901

(43)Date of publication of application : 10.12.1999

(51)Int.Cl.

H04B 7/26
G06F 15/02
G06F 15/02
G06F 17/30
H04M 1/00
H04M 1/27

(21)Application number : 10-146161

(71)Applicant : SHARP CORP

(22)Date of filing : 27.05.1998

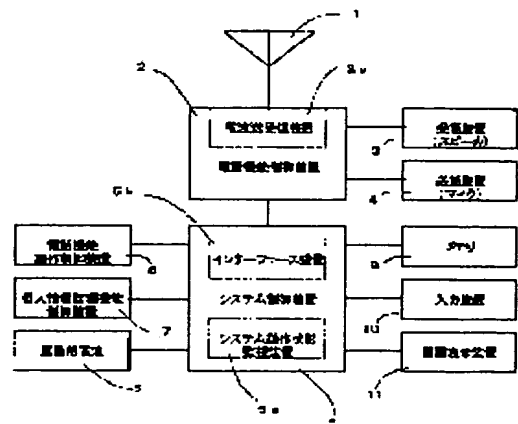
(72)Inventor : ARAKI SHIROYUKI

(54) PORTABLE TELEPHONE SET WITH PERSONAL INFORMATION MANAGEMENT FUNCTION

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a portable telephone set with a personal information management function by which the personal information management function can be used even at a place or under circumstance where a telephone function cannot be used.

SOLUTION: In the portable telephone set with personal information management function that has a telephone function by using a radio wave transmission/ reception device 2a sending/receiving a radio wave to make 2-way communication with a base station under the control of a telephone function controller 2 and has a personal information management function by using an input device 10 to enter data of personal information, a screen display device 11 to display the data, and a memory to store data so as to conduct personal information management with a personal information management function controller 7, the personal information management function is activated while the function of sending/receiving a radio wave is stopped.



BEST AVAILABLE COPY

LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 12.01.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 10.06.2003

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-340901

(43)公開日 平成11年(1999)12月10日

(51)Int.Cl.⁶

識別記号

F I

H 0 4 B 7/26

H 0 4 B 7/26

Z

G 0 6 F 15/02

3 4 5

G 0 6 F 15/02

3 4 5 G

3 5 5

3 5 5 A

17/30

H 0 4 M 1/00

R

H 0 4 M 1/00

N

審査請求 未請求 請求項の数 7 O L (全 9 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号

特願平10-146161

(22)出願日

平成10年(1998) 5 月27日

(71)出願人 000005049

シャープ株式会社

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号

(72)発明者 荒木 白幸

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シ

ャープ株式会社内

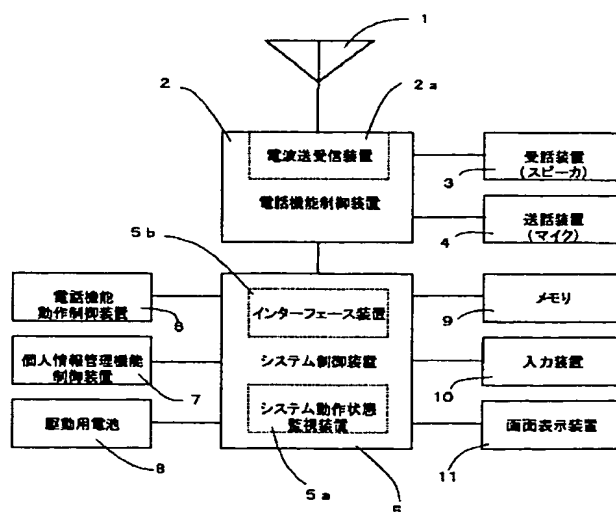
(74)代理人 弁理士 佐野 静夫

(54)【発明の名称】 個人情報管理機能付き携帯電話機

(57)【要約】

【課題】 個人情報管理機能付き携帯電話機において、着信の呼び出し音などによって他人に迷惑を及ぼす状況や飛行機内や病院内などの電波を発信できない状況では携帯電話機の電源が切られるため、個人情報管理機能を使用することができず、例えば会議中にスケジュール管理機能を参照できなかったり、病院内で公衆電話機を使用して電話するときに電話帳機能を参照できないというような不都合を解決する。

【解決手段】 電波を送受信して基地局との双方向通信を行う電波送受信装置 2 a を有して電話機能制御装置 2 によって電話を行う電話機能と、個人情報のデータを入力する入力装置 1 0 と該データを表示する画面表示装置 1 1 と該データを記憶するメモリ 9 とを有して個人情報管理機能性御装置 7 個人情報管理を行う個人情報管理機能とを備えた個人情報管理機能付き携帯電話機において、電波を送受信する機能を停止させた状態で個人情報管理機能を動作させることを可能とする。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 電波を送受信して基地局との双方向通信を行う通信手段を有して電話を行う電話機能と、個人情報のデータを入力する入力部と該データを表示する表示部と該データを記憶する記憶部とを有して個人情報管理を行う個人情報管理機能とを備えた個人情報管理機能付き携帯電話機において、電波を送受信する機能を停止させた状態で個人情報管理機能を動作可能にしたことを特徴とする個人情報管理機能付き携帯電話機。

【請求項 2】 電波を送受信して基地局との双方向通信を行う通信手段と、送話装置と、受話装置と、前記通信手段による送受信信号と音声信号を変換する信号変換部とを動作制御して電話を行う電話機能制御部と、個人情報のデータを入力する入力部と該データを表示する表示部と該データを記憶する記憶部とを有して個人情報管理を行う個人情報管理機能制御部と、前記電話機能制御部と前記個人情報管理機能制御部とを関連づけて制御するとともにシステム状態を監視するシステム制御部と、前記システム制御部を通じてシステム全体に電力を供給する駆動用電池と、

を備えた個人情報管理機能付き携帯電話機において、所定のシステム状態をシステム制御部が検知すると個人情報管理機能制御部に電力を供給して個人情報管理機能を動作させるとともに、電話機能制御部への電力供給を停止して電波の送受信を停止させることを特徴とする個人情報管理機能付き携帯電話機。

【請求項 3】 電源停止状態から所定の操作によって電源を入れると、電波を送受信する機能を停止した状態で個人情報管理機能を動作させることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 に記載の個人情報管理機能付き携帯電話機。

【請求項 4】 電話機能と個人情報管理機能とが動作している状態から、所定の操作によって電波を送受信する機能を停止させるとともに、所定の操作によって再度電波を送受信する機能を動作させて電話を行うことを可能にしたことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 のいづれかに記載の個人情報管理機能付き携帯電話機。

【請求項 5】 電話機能と個人情報管理機能とが動作している状態から、所定条件で自動的に電波を送受信する機能を停止して電話機能のみが停止されることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 のいづれかに記載の個人情報管理機能付き携帯電話機。

【請求項 6】 上記所定条件を使用者が設定可能にしたことを特徴とする請求項 5 に記載の個人情報管理機能付き携帯電話機。

【請求項 7】 電話機能の動作状態を使用者に報知する報知手段を備えたことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 6 のいづれかに記載の個人情報管理機能付き携帯電話機。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、個人情報を管理してデータ入力及びデータ表示が可能な個人情報管理機能付き携帯電話機に関する。

【0002】

【従来の技術】液晶パネルなどの画面表示装置や、キー入力やペン入力などによる入力装置を有してスケジュールや電話帳及び名刺管理などの個人情報を管理する機能を備えた携帯電話機は、例えば電話帳機能から個人名を選択すれば予め登録された電話番号が自動的に発信されるような個人情報管理機能と電話機能とを関連づけて制御することができるようになっている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、映画館内や会議中などにおいて着信の呼び出し音などによって他人に迷惑を及ぼすような状況では携帯電話機の電源を切っておく必要がある。また携帯電話機は電源を入れておくと、基地局との交信状態などを使用者に明示的に知らせるために一定時間間隔で基地局と交信を行っており、電話による送話中、非送話中に関わらず電波が送信、受信されている。このため電波が精密機器に悪影響を及ぼす可能性がある飛行機内や病院内などの場所では携帯電話機の電源を入れることができない。

【0004】このような携帯電話機の電源を切った状態の時には個人情報管理機能を使用することができず、例えば会議中にスケジュールを確認する必要が生じたときに携帯電話機のスケジュール管理機能を参照できなかったり、病院内で公衆電話機を使用して電話するときに携帯電話機の電話帳機能を参照できないというような不都合があった。

【0005】本発明は、電話機能を使用できない場所や状況であっても個人情報管理機能を使用することができるよう個人情報管理機能付き携帯電話機を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために請求項 1 の発明は、電波を送受信して基地局との双方向通信を行う通信手段を有して電話を行う電話機能と、個人情報のデータを入力する入力部と該データを表示する表示部と該データを記憶する記憶部とを有して個人情報管理を行う個人情報管理機能とを備えた個人情報管理機能付き携帯電話機において、電波を送受信する機能を停止させた状態で個人情報管理機能を動作させることが可能なことを特徴としている。

【0007】この構成によると、送受信手段から電波を送信することや基地局からの電波を受信することができないようにした状態で個人情報管理機能のデータ入力やデータの閲覧ができるようになっている。

【0008】また、請求項 2 の発明は、電波を送受信し

て基地局との双方向通信を行う通信手段と、送話装置と、受話装置と、前記通信手段による送受信信号と音声信号を変換する信号変換部とを動作制御して電話を行う電話機能制御部と、個人情報のデータを入力する入力部と該データを表示する表示部と該データを記憶する記憶部とを有して個人情報管理を行う個人情報管理機能制御部と、前記電話機能制御部と前記個人情報管理機能制御部とを関連づけて制御するとともにシステム状態を監視するシステム制御部と、前記システム制御部を通じてシステム全体に電力を供給する駆動用電池と、を備えた個人情報管理機能付き携帯電話機において、所定のシステム状態をシステム制御部が検知すると個人情報管理機能制御部に電力を供給して個人情報管理機能を動作させるとともに、電話機能制御部への電力供給を停止して電波の送受信を停止させることを特徴としている。

【0009】この構成によると、所定の操作が行われて所定のシステム状態であることを検知すると、駆動用電池の電力はシステム制御部を通じて個人情報管理機能制御部に供給されるとともに、電話機能制御部への電力供給が停止されて電波の送受信が停止される。そして個人情報管理機能のデータ入力やデータの閲覧ができるよう

【0010】また、請求項3の発明は、請求項1または請求項2に記載の個人情報管理機能付き携帯電話機において、電源停止状態から所定の操作によって電源を入れると、電波を送受信する機能を停止した状態で個人情報管理機能を動作させることを特徴としている。この構成によると所定の操作を伴って携帯電話機の電源を入れると、所定のシステム状態であることを検知し、電波の送受信が停止されるような状態で個人情報管理機能が使用可能のように電源が入られる。

【0011】また、請求項4の発明は、請求項1乃至請求項3のいずれかに記載の個人情報管理機能付き携帯電話機において、電話機能と個人情報管理機能とが動作している状態から、所定の操作によって電波を送受信する機能を停止させるとともに、所定の操作によって再度電波を送受信する機能を動作させて電話を行うことを可能にしたことを特徴としている。

【0012】この構成によると、電話機能と個人情報管理機能とが動作している状態から所定の操作を行うと、電波の送受信が停止されて個人情報管理機能のみ動作し、個人情報管理機能のデータ入力やデータの閲覧ができるようになっている。そして同一あるいは他の所定操作を行うと電波を送受信する機能が動作して電話を行うことができるようになる。

【0013】また、請求項5の発明は、請求項1乃至請求項4のいずれかに記載の個人情報管理機能付き携帯電話機において、電話機能と個人情報管理機能とが動作している状態から、所定条件で自動的に電波を送受信する機能を停止して電話機能のみが停止されることを特徴と

している。

【0014】この構成によると、電話機能と個人情報管理機能とが動作している状態から電圧低下などの所定のシステム状態になると、自動的に電波の送受信が停止されて電話機能が使用できなくなり、個人情報管理機能のみが動作して個人情報管理機能のデータ入力やデータの閲覧ができるようになっている。

【0015】また、請求項6の発明は、請求項5に記載の個人情報管理機能付き携帯電話機において、上記所定条件を使用者が設定可能にしたことを特徴としている。この構成によると、電話機能を自動停止する所望のシステム状態を使用者が設定することができ、設定したシステム状態になると、自動的に電波の送受信が停止されて電話機能が使用できなくなり、個人情報管理機能のみが動作して個人情報管理機能のデータ入力やデータの閲覧ができるようになっている。

【0016】また、請求項7の発明は、請求項1乃至請求項6のいずれかに記載の個人情報管理機能付き携帯電話機において、電話機能の動作状態を使用者に報知する報知手段を備えたことを特徴としている。この構成によると、電話機能が動作しているか停止しているかが画面表示などの方法で報知され、使用者が該状態を確認できるようになっている。

【0017】

【発明の実施の形態】本発明の実施の形態を図を参照して説明する。図1、図2は本発明の個人情報管理機能付き携帯電話機のシステム構成図及び外観図である。これらの図によると、本携帯電話機のシステム全体を制御するシステム制御装置5には、電話機能全般を実行管理する電話機能制御装置2、電話機能制御装置2の停止、再開の制御を行う電話機能動作制御装置6、電話帳やスケジュール及び名刺管理などの個人情報を管理する個人情報管理機能制御装置7、システム全体の電力供給を行う駆動用電池8、個人情報データの入力及び機能切換などを行う入力装置10、個人情報やシステムの状態を表示する液晶パネルなどからなる画面表示装置11、個人情報データ及びシステムの管理データを記憶するメモリ9が接続されている。

【0018】電話機能制御装置2には、送話を行う送話装置（マイク）4と受話を行う受話装置（スピーカ）3とが接続されており、基地局との双方向通信を行って電波の送受信を制御する電波送受信装置2aと、送受信信号と音声信号とを変換するとともにダイヤル入力を送信信号に変換する音声処理回路（不図示）とが設けられている。電波送受信装置2aには電波の送受信を行うアンテナ1が接続されている。

【0019】システム制御装置5内には本システムの動作状態の変化を監視するシステム動作状態監視装置5a、電話機能制御装置2及び電話機能動作制御装置6と交信可能に接続するインターフェース装置5bが設けら

5

れている。入力装置 10 は個人情報データの入力や電話番号のダイヤルを行うキー 18、画面表示装置 11 に表示されるメニュー項目 15 などを選択指示するペン 16、電源スイッチ 14、発信スイッチ 20、機能の切換を行う切換スイッチ 12 などから成り、キー 18 及び画面表示装置 11 は不使用時には上蓋 17 で閉じることができるようになってい

【0020】このような携帯電話機において、電源スイッチ 14 を入れてキー 18 によって電話番号を入力するとその番号が画面表示装置 11 に表示され、確認後発信スイッチ 20 を押すと電話がかけられるようになっている。個人情報管理機能の中の電話帳機能を使用する場合は、キー 18 の中の電話帳機能呼び出しを割り当てられたキー（例えば 18a）を押すと画面表示装置 11 にメモリ 9 に保存された氏名と電話番号が表示される。データの送り機能を割り当てられたキーを押してデータを送り、所望の相手先が表示されて発信スイッチ 20 を押すと電話がかけられるようになっている。

【0021】また、スケジュール機能や名刺管理機能等も同様に夫々の機能呼び出しを当てられたキーを押すことによって各機能を読み出して使用することができるようになっている。そして、この電源 14 を入れた状態では一定時間間隔で常時基地局との間で交信して電波が発信されているとともに、着信可能になっており電話がかかってくると呼び出し音などの呼び出し動作が行われるようになっている。そして再度電源キー 14 を押すと電源が遮断されて全ての機能が使用できないようになっている。

【0022】映画館内や会議中など使用者が着信をさせたくない状況や、あるいは飛行機内や病院などの電波を発信できない状況の時に個人情報管理機能を使用する場合には、例えば図 5 に示すような操作方法に各機能を割り当てている。図 5 の（a）は電源スイッチ 14 及び切換スイッチ 12 の操作方法を説明する概略図であり、（b）は動作させる各機能に割り当てられた操作方法を示している。つまり、操作番号 101 では、電源が遮断された状態から、切換スイッチ 12 を矢印 12a 方向に押しながら電源キー 14 を押すと、電話機能を使用できずに個人情報管理機能を使用できるように電源が入る。

【0023】この状態から操作番号 103 のように切換スイッチ 12 を矢印 12c 方向に下げながら電源キー 14 を押すと、電話機能と個人情報管理機能との両方が使用できるようになる（電源キー 14 だけを押して電源を入れたのと同じ状態）。この状態から次に操作番号 102 のように切換スイッチ 12 を矢印 12b 方向に上げながら電源キー 14 を押すと、個人情報管理機能を使用できる状態のまま電話機能を使用できないようになる。操作番号 101、102、103 の操作手順は使用者が設定できるようにしてもよい。

【0024】このような動作は図 3、図 4 のフローチャ

6

ートに示すような手順によって行うことができる。図 3 は図 5 における操作番号 101 による動作を行うためフローチャート、図 4 は操作番号 102 及び 103 による動作を行うためフローチャートである。電話機能の動作制御は前述のように電話機能動作制御装置 6（図 1 参照）によって行われており、電話機能動作制御装置 6 の詳細な内部構成を図 10 に示す。以下に図 3、図 4 のフローチャートの動作説明を図 10 及び前述の図 1 を参照して行う。

10 【0025】図 3 において、携帯電話起動時（電源を入れるとき）にはプロセス PA1 で、システム制御部 5 に設けられたシステム動作状態監視装置 5a によって起動時の操作が監視され、電話機能動作制御装置 6 に送られる。起動時操作記憶装置 6c には操作番号 101（図 5 参照）の操作が予め記憶されており、プロセス PA2 で起動時操作読出装置 6b によって読み出されて起動時の操作と一致しているかを起動時操作確認装置 6a によって比較確認される。

20 【0026】一致していないときは処理を終了し、一致しているときはプロセス PA3 で、電話機能制御装置 2 を停止するように電話機能停止／再開装置 6j からシステム制御装置 5 に命令が送られるとともに、電話機能が停止している状態であることをメモリ 9 に記憶させる。そしてシステム制御装置 5 によって電話機能制御装置 2 への電力供給が停止され、電波の送受信機能が停止されるようになる。

30 【0027】図 4 において、プロセス PB1 でシステム制御部 5 に設けられたシステム動作状態監視装置 5a によって携帯電話動作時の操作が監視され、操作番号 102、103（図 5 参照）のような機能切換操作が行われると、電話機能動作制御装置 6 に送られる。動作中操作記憶装置 6f には操作番号 102、103 の操作が予め記憶されており、プロセス PB2 で動作中操作読出装置 6e によって読み出されて上記機能切換操作と操作番号 102 の操作とが一致しているかを動作中操作確認装置 6d によって確認される。

40 【0028】一致していないときは処理をプロセス PB4 に移行し、一致しているときはプロセス PB3 で、電話機能制御装置 2 を停止するように電話機能停止／再開装置 6j からシステム制御装置 5 に命令が送られるとともに、電話機能が停止している状態であることをメモリ 9 に記憶させる。そしてシステム制御装置 5 によって電話機能制御装置 2 への電力供給が停止され、電波の送受信機能が停止されるようになり処理を終了する。

50 【0029】プロセス PB4 では、動作中操作読出装置 6e によって読み出された操作番号 103 の操作と上記機能切換操作とが一致しているかを動作中操作確認装置 6d によって確認される。一致していないときは処理を終了し、一致しているときはプロセス PB5 で、電話機能制御装置 2 を動作開始するように電話機能停止／再開

装置 6 j からシステム制御装置 5 に命令が送られるとともに、電話機能が動作している状態であることをメモリ 9 に記憶させる。そしてシステム制御装置 5 によって電話機能制御装置 2 への電力供給が行われ、電波の送受信機能が動作するようになる。

【0030】電波を送受信する機能を停止させる方法として他に、電波送受信装置 2 a への電力供給停止、電波送受信装置 2 a から信号を出力しないような電話機能制御装置 2 による制御、着信に対する応答を行わないような電話機能制御装置 2 による制御などの方法を用いてもよい。しかし、上記に説明した本実施形態のように、電話機能制御装置 2 への電力供給を停止するようにシステム制御装置 5 によって制御すると省電力効果が大きいので望ましい。

【0031】また本発明は、図 6 に示すように、駆動用電池 8 が消耗して電話機能は使用できないが、個人情報管理機能を使用する程度の電力が残っているような場合に、電話機能と個人情報管理機能とを使用できる状態から自動的に電話機能を停止させるようになっている。図 6 における動作を前述の図 1、図 10 を参照して説明する。

【0032】プロセス PD 1 ではシステムの状態に変化があったかをシステム動作状態監視装置 5 a で監視して変化があったときに電話機能動作制御装置 6 に送信する。次にプロセス PD 2 で、予めメモリ 9 に記憶された駆動電池 8 の下限電圧などの指定条件を電話機能自動停止用システム状態読出装置 6 i で読み出し、受け取ったシステムの状態が該指定条件に合致するかを電話機能自動停止用システム状態確認装置 6 h によって比較する。

【0033】合致しないときは処理を終了し、合致したときには電話機能制御装置 2 を停止するように電話機能停止/再開装置 6 j からシステム制御装置 5 に命令が送られるとともに、電話機能が停止している状態であることをメモリ 9 に記憶させる。そしてシステム制御装置 5 によって電話機能制御装置 2 への電力供給が停止され、電波の送受信機能が停止されるようになり処理を終了する。

【0034】更に図 7 に示すような動作によって使用者が設定したシステム条件の時に自動的に電話機能を停止させるようにしてもよい。同図において、プロセス PE 1 では、システム動作状態監視装置 5 a が管理可能なシステムの種々の状態を電話機能自動停止用システム状態設定装置 6 l (図 10 参照) によって画面表示装置 11 に表示してキー 18 やペン 16 などによって所望のシステム状態を選択する。

【0035】次にプロセス PE 2 でその設定でよいかを確認後、プロセス PE 3 でそのシステム状態をメモリ 9 に記憶させて、以後図 6 におけるプロセス PD 2 で読み出されるようになる。このようにすることで、例えば個人情報管理機能の内、スケジュール管理機能を使用する

ときは電話機能を自動的に停止するように設定して、電話の着信をすることはできないが節電効果を得る等のように使用することができる。

【0036】図 8 は電話機能の動作状態を表示する動作を示すフローチャートである。同図において、プロセス PF 1 でメモリ 9 に記憶されている電話機能が停止状態か動作状態かの情報を電話機能動作状態読出装置 6 g

(図 10 参照) によって読み出し、動作状態の時は図 9 の (a) に示すような動作マーク 19 a を電話機能動作状態表示装置 6 k (図 10 参照) によって画面表示装置 11 (図 2 参照) に表示する (プロセス PF 2)。停止状態の時は図 9 の (b) に示すような停止マーク 19 b を電話機能動作状態表示装置 6 k によって画面表示装置 11 に表示する (プロセス PF 3)。

【0037】このような構成によって電話機能の動作状態を使用者に報知することができ、携帯電話機の電源が入っているが電話機能が使用できない状態 (着信は行われない状態) の時に着信可能であると使用者が誤解することや、電話機能が使用可能状態の時に電話機能が停止している状態であると誤解するような誤操作を防止することができる。

【0038】

【発明の効果】請求項 1 または請求項 2 の発明によると、映画館内や会議中など使用者が着信をさせたくない状況や、あるいは飛行機内や病院内などの電波を発信できない状況の時に個人情報管理機能を使用することができるようになり、個人情報管理機能の活用範囲をを広げることができるようになる。更にその時に電話機能部全体の電力供給を停止すると省電力効果が大きく節電することができる。

【0039】請求項 3 の発明によると、携帯電話の電源停止時から個人情報管理機能のみを起動することができるので、使用者が着信をさせたくない状況や電波を発信できない状況の時に電波を発することなく即座に操作して個人情報管理機能を利用することができるようになる。

【0040】請求項 4 の発明によると、携帯電話の動作中に電話機能のみの停止、再開ができるので、携帯電話の電源を入れている状態から、使用者が着信をさせたくない状況や電波を発信できない状況になったときに即座に操作して電話機能を停止し、電話機能を使用してもよい状況になると即座に操作して再開して電話機能を使用することができるようになる。

【0041】請求項 5 の発明によると、携帯電話の動作中に駆動電池の消耗などの電話機能を使用できないような条件になった時に、自動的に電話機能のみを停止して個人情報管理機能を使用することができ、個人情報管理機能の活用できる状況を広げることができるようになる。

【0042】請求項 6 の発明によると、自動的に電話機

能のみを停止して個人情報管理機能を使用するようなシステムの条件を使用者の希望に応じて設定することができるので駆動電池の節電を図ることができる。

【0043】請求項7の発明によると、電話機能が停止中か動作中かが使用者に報知されるので、携帯電話機の電源が入っているが着信は行われない状態の時に着信可能であると使用者が誤解することや、電話機能が使用可能状態の時に電話機能が停止している状態であると誤解するような誤操作を防止することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の個人情報管理機能付き携帯電話機のシステム構成図である。

【図2】 本発明の個人情報管理機能付き携帯電話機の外観図である。

【図3】 本発明の個人情報管理機能付き携帯電話機の起動時の制御を示すフローチャートである。

【図4】 本発明の個人情報管理機能付き携帯電話機の機能切換動作時の制御を示すフローチャートである。

【図5】 本発明の個人情報管理機能付き携帯電話機の機能切換動作時の操作方法を説明する図である。

【図6】 本発明の個人情報管理機能付き携帯電話機の電話機能自動停止処理を示すフローチャートである。

【図7】 本発明の個人情報管理機能付き携帯電話機の電話機能自動停止条件設定処理を示すフローチャートである。

【図8】 本発明の個人情報管理機能付き携帯電話機の電話機能動作状態表示処理を示すフローチャートである。

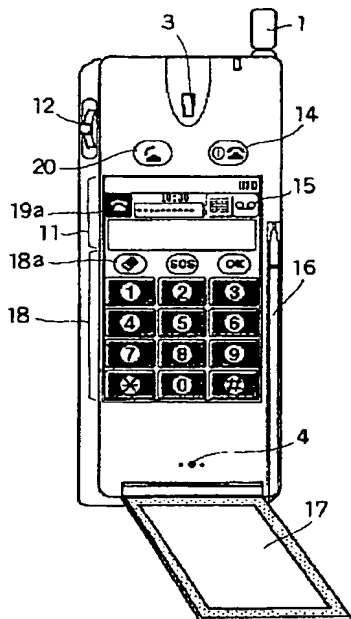
【図9】 本発明の個人情報管理機能付き携帯電話機の電話機能動作状態表示処理によって画面表示装置に表示されるマークを示す図である。

【図10】 本発明の個人情報管理機能付き携帯電話機の電話機能動作制御装置の詳細構成を示す図である。

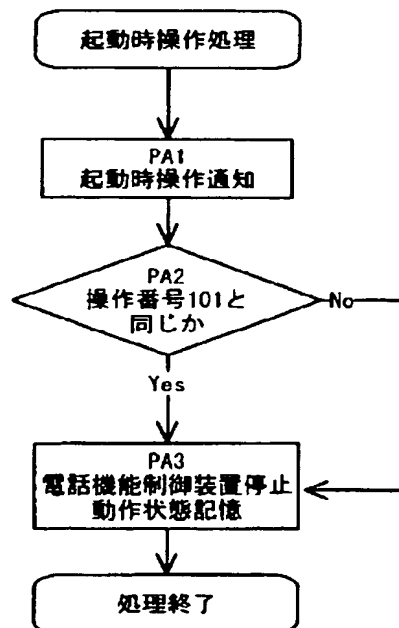
【符号の説明】

- 10 1 アンテナ
2 電話機能制御装置
3 受話装置
4 送話装置
5 システム制御装置
6 電話機能動作制御装置
7 個人情報管理機能制御装置
8 駆動用電池
9 メモリ
10 入力装置
20 11 画面表示装置
12 切換スイッチ
14 電源スイッチ
18 キー
20 発信スイッチ

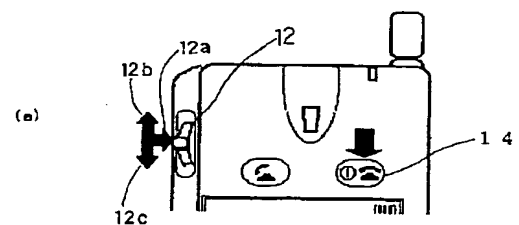
【図2】



【図3】

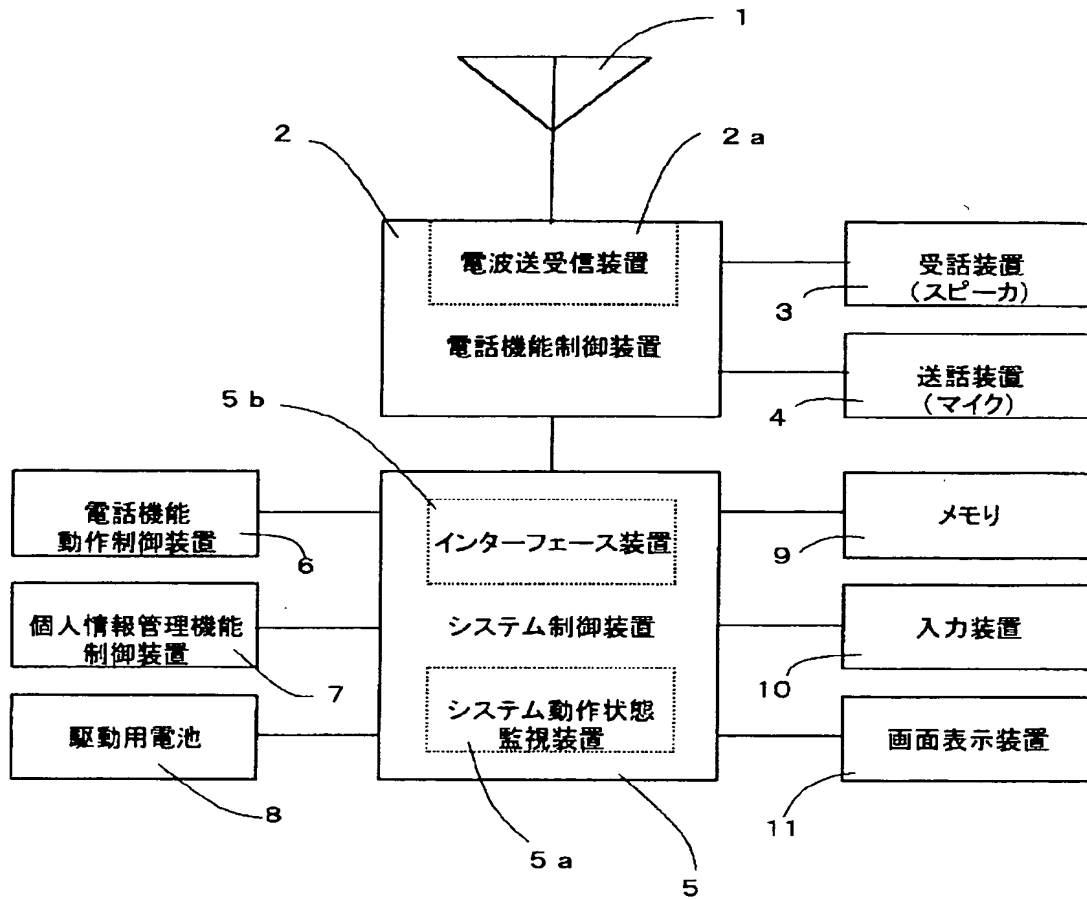


【図5】

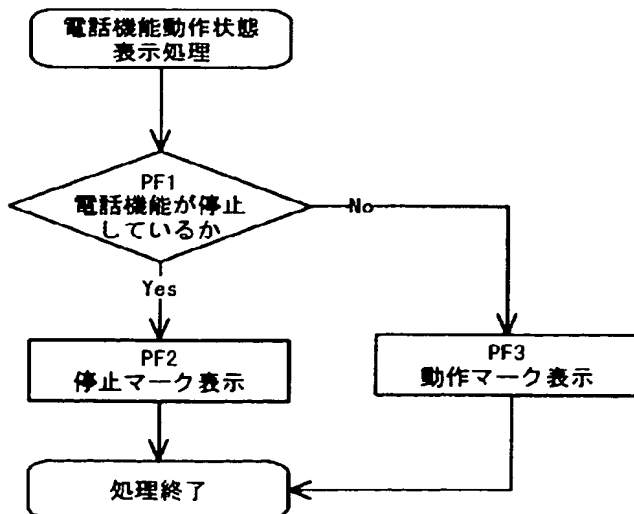


操作番号	機能	操作方法
101	起動時 電話機能停止	切換スイッチ12を押しながら 電源スイッチ14を押す
102	動作中 電話機能停止	切換スイッチ12を上げながら 電源スイッチ14を押す
103	動作中 電話機能動作	切換スイッチ12を下げながら 電源スイッチ14を押す

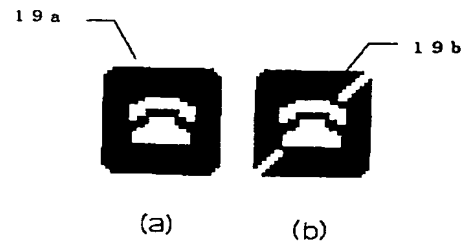
【図1】



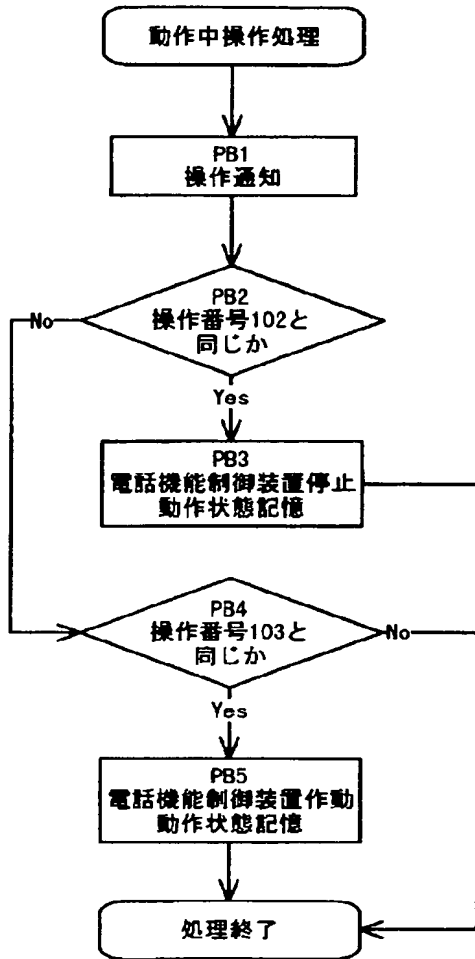
【図8】



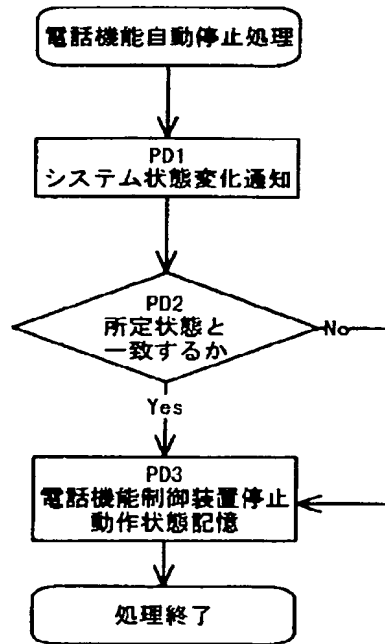
【図9】



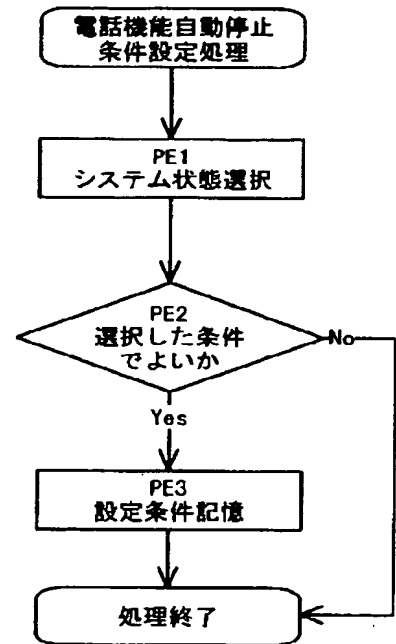
【図 4】



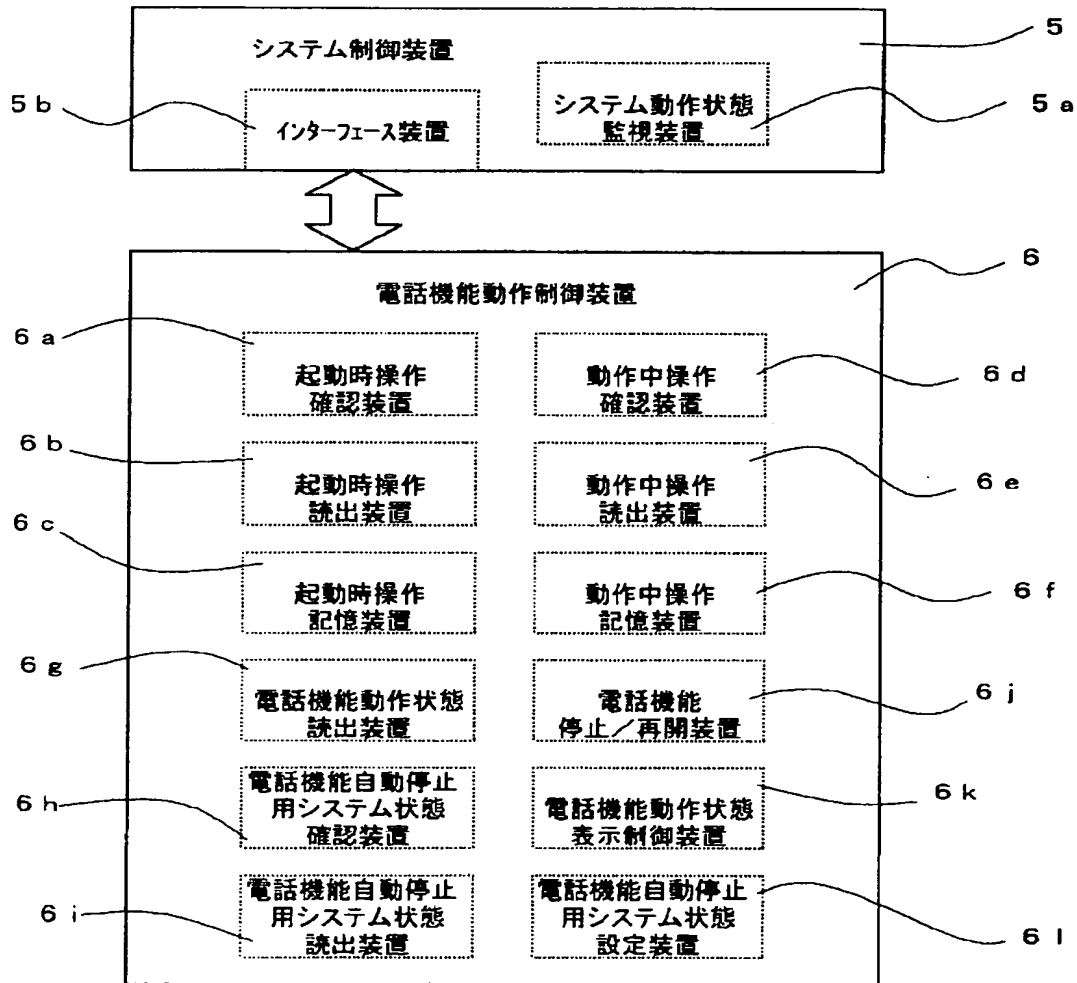
【図 6】



【図 7】



【図 10】



フロントページの続き

(51) Int. Cl. ⁶

H 0 4 M 1/00
1/27

識別記号

F I

H 0 4 M 1/27
G 0 6 F 15/40

3 7 0 Z